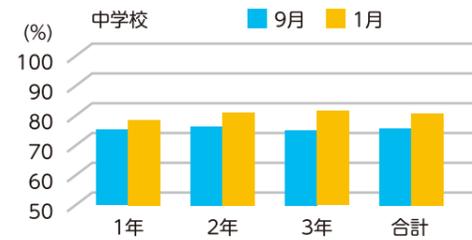
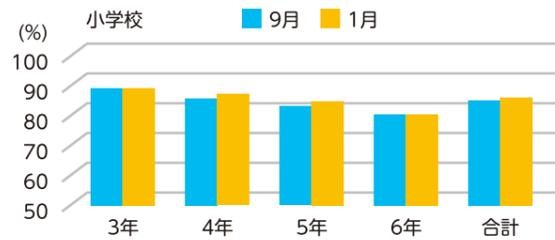


総合的な学習の時間アンケート結果

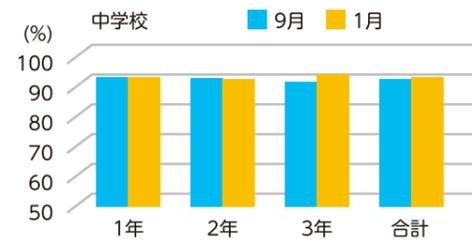
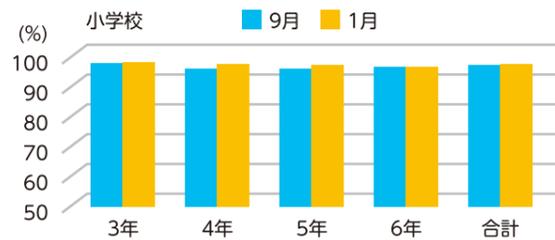
実施日：【1回目】令和4年9月、【2回目】令和5年1月 対象：草津市立小学校14校・中学校6校

※子どもたちは、質問項目に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の四択で回答しています。そのうち、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合を肯定率として表示しています。

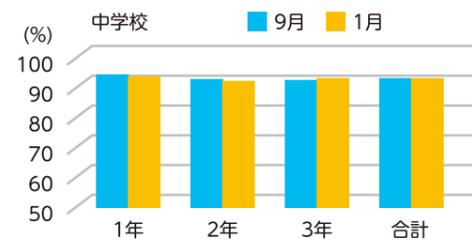
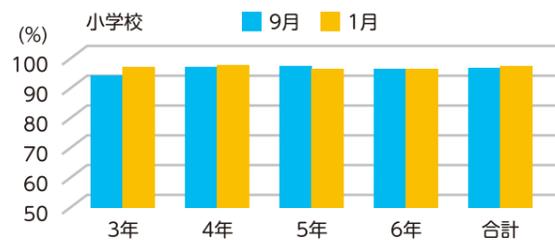
1) 総合的な学習の時間は好きだ。



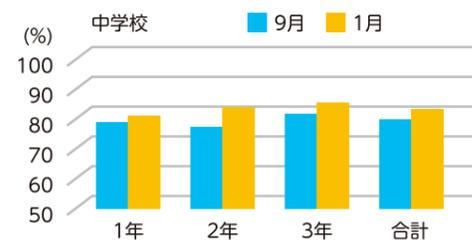
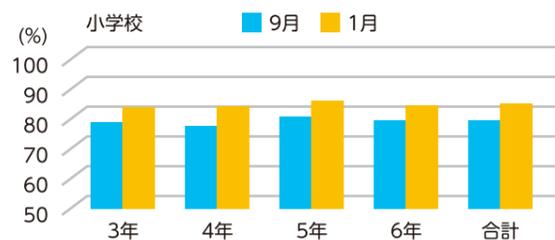
2) 総合的な学習の時間は大切だ。



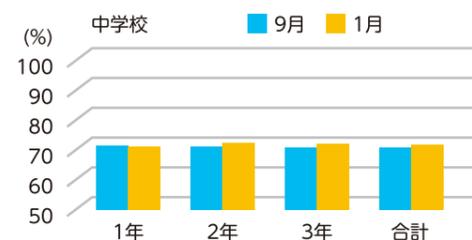
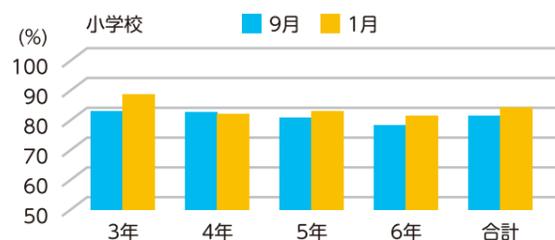
3) 総合的な学習の時間で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。



4) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



5) 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。



スクールESDくさつプロジェクト



Education for Sustainable Development 【持続可能な開発のための教育】

ESDとは「持続可能な開発のための教育」と訳されており、SDGsの実現に向けた教育です。「スクールESDくさつプロジェクト」では、様々な地域課題を体験的な学びを通して、その解決に子どもたちが主体的にかかわり、地域社会の一員としての意識と行動力を身につけることをめざしています。

ESD推進のための連携イメージ



| 展開 | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7～12年度 |
|------------|------------|---------|-------|-------|----------|
| ESDの実践 | モデル校 | → | | | |
| | 市内すべての小中学校 | → | | | |
| 報告会・研修会の開催 | 教育委員会 | 年2回(予定) | | | |

モデル校：老上小学校・常盤小学校・松原中学校

ESDで変わる子どもの学び

学校と地域の協働活動によって 行動・発信する

- 学年、学校、地域を超えての発表
- 自作レシピの開発・調理・試食会
- リサイクル・リユース・リデュース活動
- 自然保護・文化伝承・福祉活動
- 史跡ガイド

地域や人に役立っている。
さらに続けていきたい。



えふえむ草津でON AIR



土をリサイクル



昆虫の観察



地域の川の生き物調査



地元生産者さんより

身近な地域の特色を知る 地域のすばらしい〇〇に気づく

<課題の設定>

環境・健康・福祉・人権・文化
産業・歴史・自然など様々な分野

地域のすばらしい〇〇を実感、もっと、
詳しく知りたい。



まち探検より



インターネットで検索



プチトマトの地域販売 本陣ボランティアガイド



行動する 発信する

気づく・ 知る

調べる

地域とつながる 情報を収集する

- 図書資料やICT機器を活用
- 地域の人にインタビュー
- 様々な施設等への訪問、見学、調査
- 試食、試着、試技

〇〇ってすごい。しかし、このままだと
地域の〇〇が持続不可能になる。

学びのサイクル

地域課題解決型

総合的な学習の時間の充実

提案する

まとめる

成果物を作成する 地域のSOSをキャッチする

<新たな課題の設定>

- 新聞や作品づくり
- プレゼンテーションの作成
- ポスターや紙芝居の作成
- レポートの作成

〇〇を何とかしたいという思いが高まる。



たねだんごから
フラワーロード



学校畑を整地してオリジナル大根の栽培へ



地域の方へ花の輪
プロジェクトを提案



米粉を利用した
レシピの開発

改善策を企画・提案する

- 地域の願いと学校の思いをマッチ
- 専門家からの学び
- 地域への投げかけ・依頼

〇〇をつくらう。報告会を開催しよう。
レシピを考えよう。



保護者へのアイマスク体験



ベジクサPR自作紙芝居



オンライン交流による
まちの魅力発信



車いすで検証



愛彩菜の収穫体験



調べたことを発表

めざす子どもの姿とつけたい力

—思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育むESD—

地球規模で考え、他と協働して身近なことから行動する子ども

主体性

探究性

協働性

社会性

自己肯定力・やり抜く力(土台となる力)

ESDの魅力

—体験活動は“ひとづくり”の原点—

学校・教職員にとって…

- ▶ 社会に開かれた教育課程の実現
- ▶ 教科横断的な実践による探究性の高まり
- ▶ 地域との協働による教育活動のひろがりや深まり→学校への信頼度の向上
- ▶ 地域の特性を活かした特色ある学校経営の活性化
- ▶ 地域社会への理解の促進

子どもにとって…

- ▶ 様々な体験活動による「学びに向かう力・人間性」の涵養
- ▶ 生きて働く知識と技能の習得
- ▶ 自己肯定感とやり抜く力の高まり
- ▶ 「気づき・考え・行動する」社会の創り手へ
- ▶ 地域への愛着心や愛校心の高揚

地域や保護者にとって…

- ▶ 地域のよさを再発見
- ▶ 人と人がつながる地域コミュニティの構築
- ▶ 持続可能な地域づくり
- ▶ 地域で子どもが育つ安心感
- ▶ 教育活動への当事者意識の高揚